

基礎交付金事業実績書

団体名：浅水コミュニティ運営協議会

1 総事業費 2,053,430 円

2 事業内容

(1) 事業名 浅水ふれあい夏まつり事業

事業費	307,388 円
事業内容	◆浅水ふれあい夏まつりの開催 開催日：8月4日（日） 会 場：浅水農村公園 参加者：300名 あさみずばざーと同時に開催（ばざーる参加者 300名） 内 容：ステージ演舞（Hi-ST DANCE SCHOOL、心和会平賀一家 譽、フラ・ハー ラウ・マーヘ・アラニ、浅水小学校児童）子ども縁日・めんこいゆかた っ子コンテスト・抽選会を企画。
事業成果	・暑さ対策として開催時間を1時間遅らせた。様々なジャンルの舞踊ゲストを募ることにより来場者の興味・関心の引き付けを図った。中学生ボランティアを募っての縁日コーナー、露店コーナーの運営、お楽しみ抽選会、同時開催のあさみずばざー等盛りだくさんの内容で多世代の来場を促した。

(2) 事業名 浅水ふれあい運動会事業

事業費	236,936 円
事業内容	◆浅水ふれあい運動会の開催 開催日：5月26日（日） 会 場：浅水小学校校庭 参加者：250名 内 容：各行政区対抗による玉入れ、フライシートリレー、浅水ウルトラクイズ、じゃんけん大会等
事業成果	・昨年に引き続き激しく競う競技や密になる競技を避け、誰でも参加できる浅水ウルトラクイズ等を取り入れて少子・高齢化に対応できる内容で多世代の参加を促すことができた。コロナ禍後の地域コミュニティの活性化・再構築につながった。

(3) 事業名 こいのぼり掲揚事業

事業費	0 円
事業内容	◆こいのぼり掲揚 開催日：4月6日（土）～5月15日（水） 会 場：浅水農村公園 参加者：11 名 内 容：こいのぼり掲揚数 約 70 旒 登米市広報等で発信し、登米市内全域から使われなくなったこいのぼりを寄付していただき、行政区長と職員で掲揚している。
事業成果	・こどもの成長を願い、通学路の側、浅水農村公園にこいのぼりを掲揚し、地域の活性化を図った。親子で公園で遊ぶ姿も多く見られた。また、各方面からこいのぼりの提供があった。

(4) 事業名 浅水コミュニティまつり事業

事業費	363,090 円
事業内容	◆令和 6 年度コミュニティまつり 日 時：10 月 27 日（日） 会 場：浅水ふれあいセンター 特設ステージ 参加者：約 400 名 あさみずばざーと同時に開催（バザール参加者 600 名） 内 容：特別ゲスト 清水バンド、フラ・ハーラウ・マーヘ・アラニ、Hi-ST DANCE SCHOOL、心和会平賀一家 譽、舞綺瓔、水沢絆舞連、紅翔連、浅水小学校児童による合唱。3 年生・4 年生による郷土芸能（長谷観世音虎舞）に披露、中学生ボランティア・専門学校生ボランティアによる子ども縁日コーナーの設置、自衛隊宮城地方協力本部によるキャラクター着ぐるみ・撮影会等。
事業成果	・様々なゲストを募っての開催でマンネリ化の改善・活性化を図った。小学生による郷土芸能を披露することにより伝承の必要性を促した。 あさみずばざーを同時開催することにより、地域外からの来場も多く浅水を広く知ってもらえるきっかけになった。

(5) 事業名 奉仕作業事業

事業費	25,017 円
事業内容	◆ふれあいセンター周辺の奉仕作業 開催日：5 月 19 日（日）、6 月 16 日（日）、7 月 7 日、（日）8 月 18 日（日） 9 月 8 日（日）計 5 回開催 6 時～7 時、一部時間変更あり 会 場：浅水ふれあいセンター周辺・農村公園 参加者：179 名（5 回実施計） 内 容：草取り・草刈り・農村公園整備
事業成果	・ふれあいセンター周辺や農村公園を各行政区が輪番で奉仕作業を行うことでセンター周辺の景観保全、地域コミュニティの繋がりが図れた。

	また、地域企業ダイナム（株）の従業員にも地域貢献として毎回協力頂いている。
--	---------------------------------------

(6) 事業名 自然体験交流事業

事業費	236,391 円
事業内容	◆自然体験交流事業の開催 開催日：夏 8月7日（水） 冬 1月25日（土）～1月26日（日） 会 場：夏 浅水ふれあいセンター 三滝堂 冬 秋田県横手市増田町 参加者：夏 10名 冬 22名 内 容：浅水小学校児童と横手市増田小学校児童との交流事業 夏 三滝堂にて沢遊び（B＆Gの協力による水辺の安全についての講話あり）、e-sports・ナーフ大会、バーベキューにて交流。 冬 1日目 横手焼きそばづくり体験、かまくら体験、増田まんが美術館見学、釣りキチ三平の里にて増田小学校児童との雪遊び交流。 2日目 天下森スキー場にてスキー教室
事業成果	・夏は横手市増田小学校児童が浅水に来て沢遊び体験（近年の猛暑によりこれまでのカヌー体験を止め、昨年より沢遊びに変更）冬は横手市増田町でそり滑りやスキー教室を行うことで、友達づくりと異世代交流のほか、お互い地元ではできない自然体験を通した学習を図ることができた。今年度（冬）は中学生ジュニアリーダー4名に同行支援を依頼し、レクリエーションを通し児童たちと交流を図った。ジュニア育成にもつながった。 児童の自立心・協同性等、非認知能力の向上にもつながっている。

(7) コミュニティ組織運営事業

事業費	481,186 円
事業内容	◆コミュニティ組織運営事業 コミュニティ運営事業の充実を図る為、また組織の活動の継続発展を目的に運営会議、地域づくり会議等の開催。地域づくり研修会等への参加。 コミュニティ運営会議、地域づくり部会会議、研修会等の参加旅費、研修費、時間外手当
事業成果	・毎月の事務局会議の開催。各種専門部会の開催により、事務処理、事業の円滑な運営につながった

(8) 地域づくり事業

事業費	353,584 円
事業内容	◆地域づくり事業

①歌声喫茶

開催日：毎月第3土曜日開催

会 場：浅水ふれあいセンター

参加者：109名（12回開催計）

内 容：昭和歌謡・童謡・唱歌等を講師のギター伴奏にあわせて歌うことで、健康増進・ストレス解消、フレイル対策につながった。

②ユニカール大会の開催

開催日：6月21日（金）

会 場：浅水ふれあいセンター

参加者：47名

内 容：各行政区対抗 ふるさとスポーツ地区大会

③北上川土手清掃作業

開催日：3月15日（土）

会 場：ふれあいセンター側の北上川土手

参加者：22名

内 容：地域づくり部会「ととのえ隊」事業として開催。隊員の他、募集した地域住民ボランティアと（株）ダイナム従業員が地域貢献として北上川土手のゴミ拾いを実施し、地域の景観の向上と地域愛を育んだ。

④浅水ふれあいセンター周辺の環境整備

内 容：花壇の春・秋の植え替え・追肥・害虫駆除。

⑤シニアグラウンドゴルフ大会

開催日：10月12日（土）

会 場：浅水ふれあいセンター 農村公園

参加者：64名

内 容：60歳以上であれば誰でも参加できるグラウンドゴルフ大会。高齢者の親睦と普及。

⑥あさみずばざーの開催

開催日：8月4日（日）10月27日（日）

会 場：浅水農村公園 浅水ふれあいセンター

参加者：約900名（2回計）

（夏まつり・コミュニティまつりと同時開催）

内 容：地域に「にぎわい」と「人・事・物の交流」を生み出すため「あさみずばざー」を企画。地域内外から出店者を募り、約20店舗以上出店（地域民による浅水米・ハンドメイド作品の販売、地域企業の出店）。

⑦健康料理教室

開催日：4月17日（水）、6月19日（水）、8月21日（水）、10月25日（金）
12月18日（水）、2月19日（水）計6回開催

会 場：浅水ふれあいセンター

参加者：48名（6回開催計）

内 容：「おから味噌づくり」「免疫力アップ料理」「夏バテ解消！スタミナレシ

	ピ」「キムチづくり教室」「おからでヘルシー 腸活メニュー」「おからでスイーツづくり」 ⑧夏休み勉強会＋αの開催 開催日：7月23日（火）、7月26日（金） 会 場：浅水ふれあいセンター 参加者：24名（2回開催計） 内 容：夏休みの宿題、自主勉強1時間 ドローンプログラミング1時間 ⑨サブカル事業の開催 開催日：12月21日（土） 会 場：浅水ふれあいセンター 参加者：500名 内 容：ふれあいセンター全館を使い、e-sports、プラモデルづくり、ナーフ体験、カラオケ、歌声喫茶、めんこ、コマ、ベイブレード、ボードゲーム等様々なサブカルを体験してもらい、同世代、異世代の交流につながった。ジュニアリーダーにスタッフとして協力もらった。
事業成果	・①「歌声喫茶」2時間の開催時間だが、間に休憩時間を挟み、お茶菓子等の提供で参加者同士の情報交換・コミュニケーションも活発である。 常に新しい歌を増やし、マンネリ化の防止を図っている。 ②日頃の運動不足の解消、地域の親睦が図られた。 ③「北上川土手清掃活動」は9年前から継続している事業ではあるが、地域住民の理解があり毎年多数のボランティア参加がある。地域貢献として地元企業ダイナム（株）従業員にも参加いただいた。継続した活動により当初よりは各段にゴミの量が減っている。 ④「センター周辺の環境整備」はセンター前花壇の植替えを年2回春と秋行っている。来館者同士が花壇の花を見て会話を弾ませている姿が多々見られた。 ⑤「シニアグラウンド大会」は60歳以上であれば誰でも参加できることから孤立防止、外出を促すことにつながっている。 ⑥「あさみずばざー」を夏まつり、コミュニティまつりと同時開催することにより、地域内外老若男女問わない来場があった。浅水地域の出店者も増え、浅水を地域外の方々にも知ってもらう機会となった。 ⑦「健康料理教室」はコロナ過後に企画した事業であるが、参加者からは大変好評を得ている。今年から年6回の定期事業として開催。 ⑧ 夏休みの小学生対象事業として企画。夏休みの宿題や自主勉強をしてからドローンの操縦プログラミングを体験する事業。グループで相談して操縦経路を入力。 協同性・協調性の向上につながった。また、別に来館していた中学生が宿題を見てくれる場面もあった。 ⑨ 親子、祖父母と孫とで来場される方もおり、昔遊びを祖父母と、e-sportsを孫と体験する様子もみられた。スタッフの中学生ジュニアリーダーと高齢者が一緒にカラオケを楽しむ異世代交流もあった。

(9) 地域活性化事業

事業費	49,838 円
事業内容	◆自治組織等への活動奨励金の支出 内 容：自治組織等が行う組織内の地域づくり活動課題解決の円滑化を図る。
事業成果	・活動奨励金を活用し、自治会が主催する秋まつりや健康まつり等の賞品、自主防災組織のマップ作成、生活充実講座等の一部に充当。コロナ後の地域コミュニティの再構築につながった。